

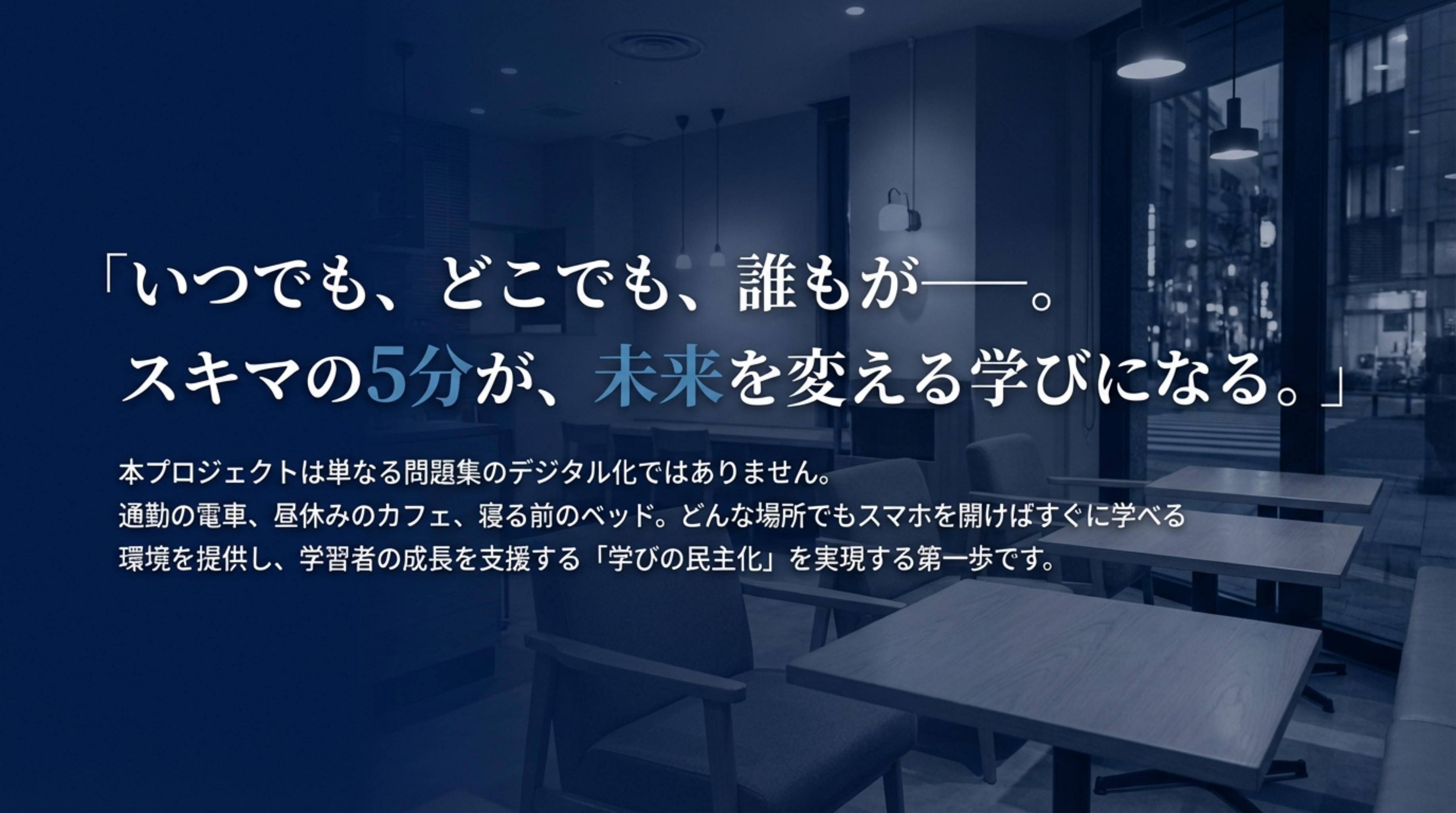


GMAP試験対策問題集アプリ

開発および検証フェーズに関する提案書

提案者：[Presenter Name]

宛先：木村社長



「いつでも、どこでも、誰もが——。
スキマの5分が、未来を変える学びになる。」

本プロジェクトは単なる問題集のデジタル化ではありません。
通勤の電車、昼休みのカフェ、寝る前のベッド。どんな場所でもスマホを開けばすぐに学べる
環境を提供し、学習者の成長を支援する「学びの民主化」を実現する第一歩です。

GMAP学習環境の課題とデジタルシフトの必然性



市場・ユーザー環境の変化

- ・資格・検定試験のデジタル化・オンライン学習の一般化
- ・スマートフォンによるスキマ時間学習の需要増加

現状の課題 (Paper-based Issues)

Roboto Medium



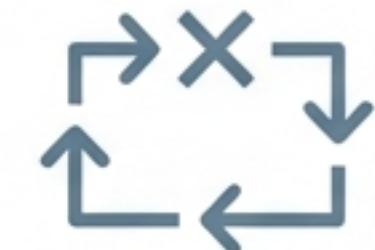
学習手段の不足

GMAP特化のツール
が限定的



利便性の欠如

紙教材は持ち運びやスキマ時間の利用が困難



フィードバック

即時採点・解説がなく
学習効率が悪い

提案の必然性: 受験者の学習体験を向上させるため、
デジタル問題集アプリの開発が急務である。

GMAP試験対策問題集アプリ：サービス概要

スマートフォンやウェブブラウザを通じて、いつでもどこでも効率的に学習できるGMAP特化型問題集。

ターゲット (Target Audience)

Roboto Medium



GMAP受験予定者



再受験者



スキルアップ目的

提供価値 (Value Proposition)

Roboto Medium

- 利便性 (Convenience): スマホ・ウェブでスキマ時間に学習可能
- 即時性 (Immediacy): 解答後すぐに採点・解説を確認可能
- 集中学習 (Focus): GMAP試験に特化した問題で効率化



想定されるユーザーエクスペリエンスと主要機能

Step 1: 問題一覧



ユーザーが取り組む問題を選択。

Step 2: 解答画面



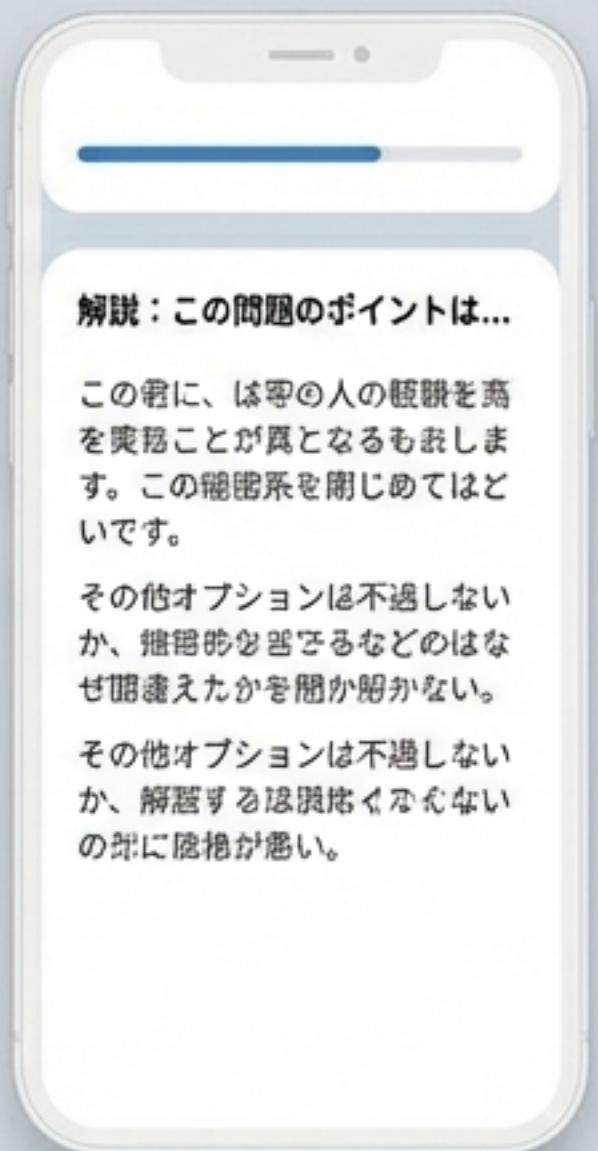
スマホに最適化されたUIで回答を入力。

Step 3: 採点・結果



即座に正誤判定を表示。

Step 4: 解説



なぜ間違えたかをその場で確認（簡易解説）。

リスクを最小化する「HTMLモック先行」アプローチ

いきなり本番開発を行うのではなく、まずは「HTMLモック」を作成し、UI/UXの検証を行います。

フェーズ1（今回提案範囲）： HTMLモック

- 🔍 目的：UI/UX検証、関係者合意
- 💻 技術：HTML5/CSS3/JS（静的）
- 💰 コスト：低 (Low)

モック完成後に
「本番開発の可否判断」
を実施

判断
(Decision)

フェーズ2（将来）： 本番開発

- 🚀 目的：サービスリリース、収益化
- 💾 技術：React/Vue, DB連携,
会員管理
- 💰 コスト：中～高 (Medium/High)

実装スケジュールとマイルストーン



技術仕様・実装計画（モックフェーズ）

ゴール: スマホ・ウェブで動作するHTMLモックの完成およびUI/UX検証



マークアップ

HTML5



スタイル

CSS3（レスポンシブ対応）



インタラクション

JavaScript（Vanilla or 軽量ライブラリ）



動作環境

モダンブラウザ
(Chrome, Safari, Edge 等)

成果物（Deliverables）

- ・静的HTMLファイル一式
- ・サンプル問題データ（JSON等）
- ・簡易README

将来的な収益モデルのオプション

※モック段階では収益化は想定せず、検証結果を基に本番開発時に以下から決定します。

オプションA: 無料+広告

Roboto Medium

- ・ メリット: ユーザー獲得のハードルが低い
- ・ 懸念点: 学習体験への影響

オプションB: 有料課金

Roboto Medium

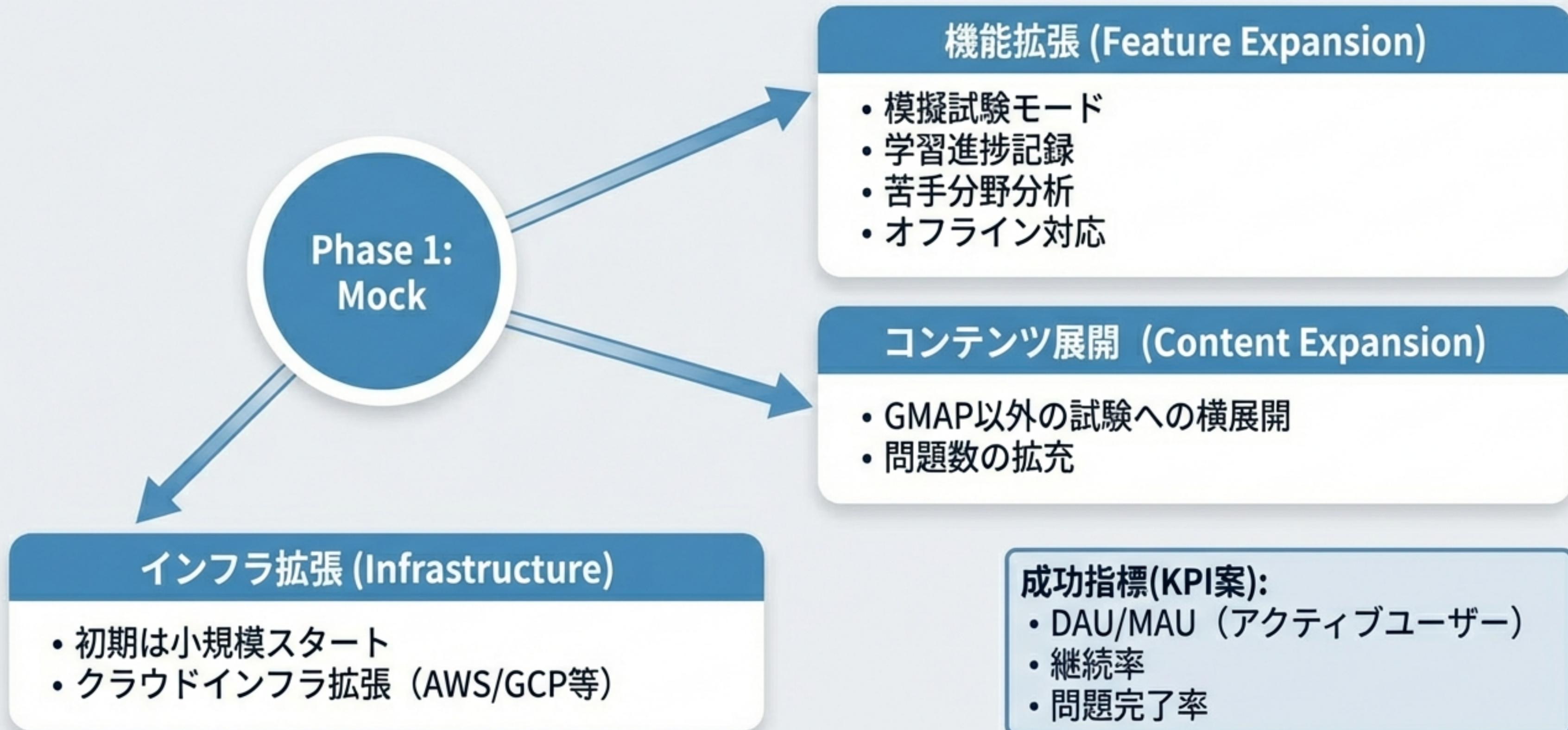
- ・ メリット: 収益予測が容易、高品質な体験
- ・ 懸念点: 獲得ハードルが高い

オプションC: ハイブリッド

Roboto Medium

- ・ メリット: バランスが良い
- ・ 懸念点: 運用・設計が複雑

拡張性と将来の展望



本プロジェクトによる期待効果

ビジネス面 (Business)

- ・新規事業の芽としての可能性
- ・試験認知拡大に伴う先行者利益
- ・顧客接点の創出

技術・組織面 (Tech/Org)

- ・学習アプリ開発のノウハウ蓄積
- ・HTMLモックによる早期検証とリスク低減

ユーザー面 (User)

- ・スキマ活用による学習効率化
- ・即時フィードバックによる効果向上

結論および承認依頼事項

GMAP試験対策アプリは市場ニーズが高く、かつ段階的な開発アプローチによりリスクを最小限に抑えた妥当な投資案件です。

- 1. 企画の承認: アプリ開発方針の合意**
- 2. フェーズ1～2の着手: 要件定義およびHTMLモック作成の許可**
- 3. リソース確保: 必要な人員・予算の割り当て**

承認後、直ちに要件定義フェーズへ着手いたします。